



# Sun Fire 280R サーバー 設定とラックマウントの手引き

---

Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No. 817-0421-10  
2002 年 10 月, Revision A

コメントの宛先: [docfeedback@sun.com](mailto:docfeedback@sun.com)

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、AnswerBook2、docs.sun.com、Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

|     |   |
|-----|---|
| 原典: | Sun Fire 280R Server Setup and Rackmounting Guide<br>Part No: 806-4805-10<br>Revision A |
|-----|---|



Adobe PostScript

# 目次

---

はじめに v

1. 設置作業の準備 1
  - システムの開梱 1
  - 梱包内容の確認 2
    - 付属品ボックスとスライド部品ボックスの内容 3
2. ラックへの取り付け 5
  - オプションの取り付け 5
  - 作業前の注意事項 6
    - 取り付けに必要な工具 6
  - 設置作業の安全対策 7
  - 組み立て済みスライドの配置 8
  - ラック格納装置の準備 9
  - ラック格納装置へのスライド部品の設置 12
  - ラック格納装置へのサーバーの設置 14
3. システムの設定 19
  - 電源コードの接続 20
  - より対線 Ethernet ケーブルの接続 22
  - システムコンソールの設置 23

|     |                     |    |
|-----|---------------------|----|
| tip | 接続の設定方法             | 23 |
|     | ASCII 端末の接続方法       | 24 |
|     | グラフィックコンソールの設置      | 25 |
|     | ラック格納装置の復元          | 28 |
|     | システムの電源投入           | 28 |
|     | オペレーティングシステムのインストール | 31 |
|     | オンラインマニュアルのインストール   | 31 |
| A.  | ラック格納装置の必要条件        | 33 |

# はじめに

---

このマニュアルでは、Sun Fire™ 280R サーバーを EIA (Electronic Industries Association) 準拠の標準ラックに設置し、設定をする手順について説明します。

サーバーの設定ができれば、関連ソフトウェアのインストールについて説明した『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』を参照してください。このマニュアルは、システム管理やネットワークについて十分な知識と経験を持ったユーザーを対象としています。

---

## 本書の構成

本書の内容は、次のとおりです。

第 1 章では、サーバーとラックマウントキットの梱包内容について説明します。これにより、出荷された内容について確認できます。

第 2 章では、72 インチ (184 cm) 高の Sun™ 拡張キャビネットやその他の EIA 準拠ラックにサーバーを取り付ける方法について、順を追って説明します。

第 3 章では、必要なコードやケーブル類をサーバーに接続して、サーバーを起動する方法について説明します。関連ソフトウェアのインストールについては『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』を参照してください。

付録 A では、72 インチ (184 cm) 高の Sun 拡張キャビネットやその他の EIA 準拠ラックの安全条件を一覧します。

---

## 関連マニュアル

| 目的                     | マニュアル名                                | Part No.    |
|------------------------|---------------------------------------|-------------|
| 構成と設定                  | 『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』        | 806-7607-10 |
| パーツの交換と保守 <sup>1</sup> | 『Sun Fire 280R Server Service Manual』 | 806-4807-10 |

---

<sup>1</sup>内蔵ディスクドライブを除き、各製品の交換は購入先の保守担当者にお問い合わせください。

---

## 書体と記号について

このマニュアルで使用している書体と記号について説明します。

表 P-1 このマニュアルで使用している書体と記号

| 書体または記号                     | 意味                                     | 例  |
|-----------------------------|--|--|
| AaBbCc123                   | コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。 | <code>.login</code> ファイルを編集します。<br><code>ls -a</code> を実行します。<br><code>% You have mail.</code> |
| <b>AaBbCc123</b>            | ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。    | <b>マシン名 % su</b><br><b>Password:</b>   |
| <i>AaBbCc123</i><br>またはゴシック | コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。          | <code>rm filename</code> と入力します。<br><code>rm ファイル名</code> と入力します。                              |
| 『 』                         | 参照する書名を示します。                           | 『Solaris ユーザーマニュアル』  |
| 「 」                         | 参照する章、節、または、強調する語を示します。                | 第 6 章「データの管理」を参照。<br>この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。   |
| \                           | 枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅をこえる場合に、継続を示します。 | <code>% grep `^#define \<br/>XV_VERSION_STRING`</code>   |

# 第1章

---

## 設置作業の準備

---

このマニュアルでは Sun Enterprise™ 280R サーバーを Sun の拡張キャビネット、または EIA 310 標準のラック格納装置に設置する方法を解説しています。このマニュアルでサーバーをラックに取り付けた後のソフトウェアのインストール作業には、『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』を参照してください。

Sun Fire 280R サーバーのラックへの取り付けは、次の手順で行ってください。

- システムの開梱と確認。第 1 章を参照してください。
- ラックへの取り付け。第 2 章を参照してください。
- システムの設定。第 3 章を参照してください。

---

## システムの開梱

システムは、本体に内蔵するタイプのオプションをほぼすべて取り付けられた状態で出荷しています。外付けの周辺機器は本体から取り外した状態で出荷しています。Sun Fire 280R サーバーの内蔵ディスクドライブを除き、部品の取り付けや交換はサンまたは購入先の保守担当者が行います。オプション部品の取り付けについては、『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』や『Sun Fire 280R Server Service Manual』を参照するか、購入先にお問い合わせください。

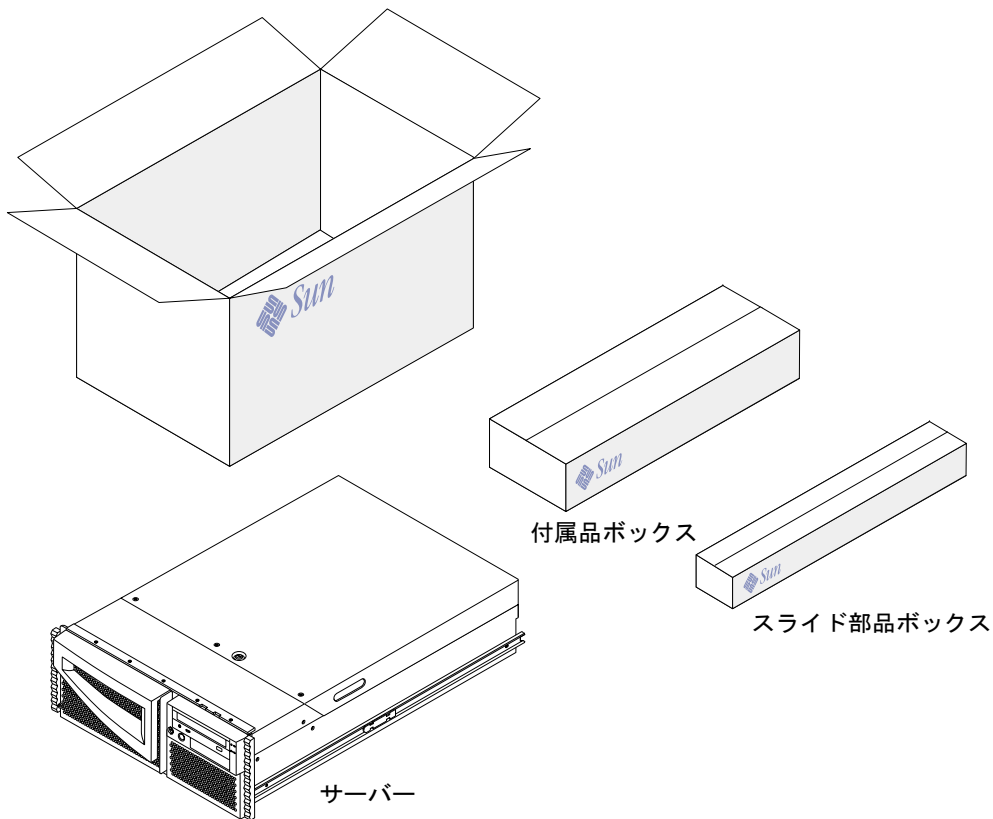
出荷用の箱に物理的な損傷がないかどうか確認してください。損傷があった場合は、運送代理店に連絡し、代理店の立ち会いのもとで開梱してください。梱包箱などを含むすべての内容物はそのまま保管し、代理店による適正な検査を受けられる状態にしておいてください。

発注したすべての内容が含まれていることを確認してください。内容に不備があった場合は、購入先にお問い合わせください。

## 梱包内容の確認

出荷箱の中には、次の内容が梱包されています。

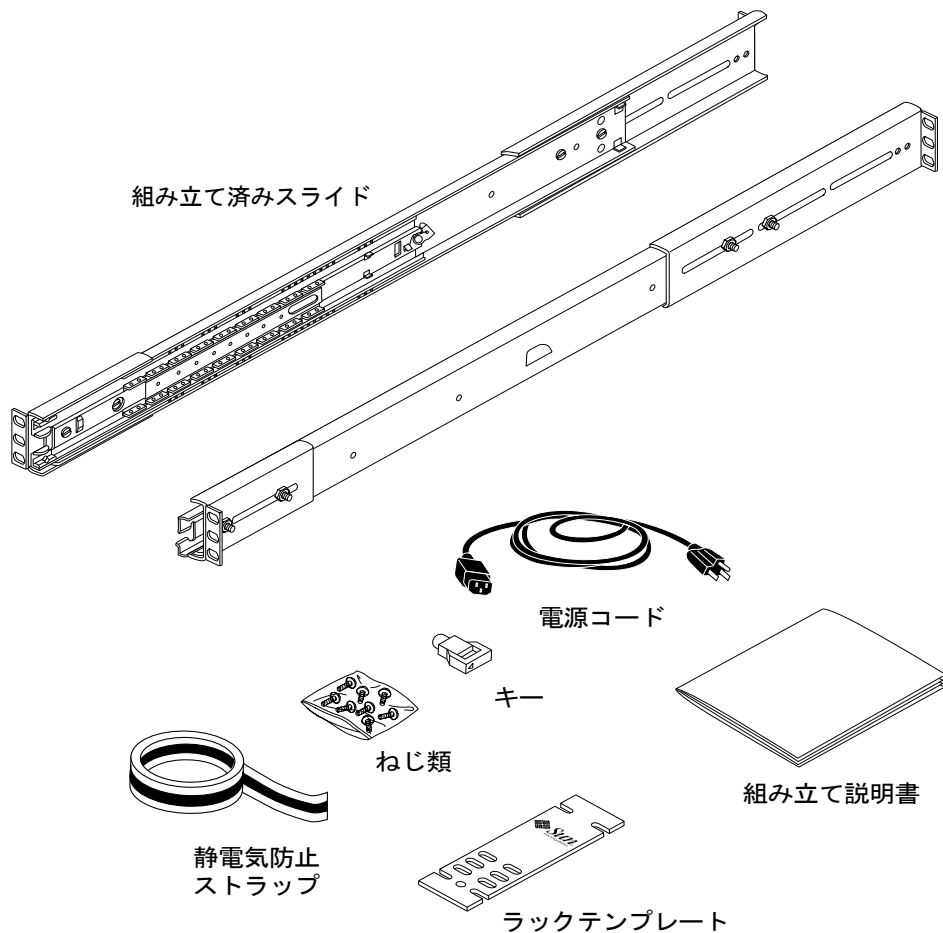
- Product Name サーバー
- 付属品ボックス
- スライド部品ボックス





## 付属品ボックスとスライド部品ボックスの内容

サーバー用の Sun ラックマウントキットが同梱されています。付属品ボックスとスライド部品ボックスには、組み立て済みラックマウントスライドキットと次の部品が梱包されています。



---

**注** - スライド部品の最深部のレールは、すでにサーバー格納装置の外側に取り付けてあります。ラックトレイやデスクトップの取り付けの際に取り外してください。

---

キーは、19 ページの「システムの設定」でのシステムの制御に使用します。静電気防止用リストストラップはラックへの取り付けには必要ありません。キーと静電気防止用リストストラップは、『Sun Fire 280R Server Service Manual』と『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』で説明している作業で必要になります。

付属品ボックスには、ねじ、ナット、ワッシャーなどの部品の入ったビニール袋が 1 つ含まれています。次の図に部品のサイズを実寸で示します。



ラックマウント用の金具やスライド部品の取り付けには、10-32 × 3/4 ねじ 8 本を使用します。ラックへの取り付け後は、使用しない部品は予備となります。

---

**注** – Sun 製のラック格納装置では、バーナットは使用しません。バーナットは、スレッドを使用しないラック格納装置の取り付けに使用します (このシステムには付属していません)。詳細については各ラック格納装置に付属のマニュアルを参照してください。

---

## 第2章

---

# ラックへの取り付け

---

この章では Sun Enterprise 280R サーバーを Sun 拡張キャビネットまたは EIA 標準のラック格納装置に取り付ける手順を解説します。

Sun Enterprise 280R サーバーのラックマウントの際には、次の手順に従って適切に作業してください。

- 5 ページの「オプションの取り付け」
- 9 ページの「ラック格納装置の準備」
- 12 ページの「ラック格納装置へのスライド部品の設置」
- 14 ページの「ラック格納装置へのサーバーの設置」

ラックマウントの手順については『Sun Fire 280R サーバー ラックマウントの概要』でもイラスト形式で解説しています。この章ではラックマウントの各手順の詳細を解説しています。

---

## オプションの取り付け

システムと一緒にご注文のオプションは、通常は工場出荷時に取り付けられています。それ以外のオプションの取り付けについての詳細は、『Sun Fire 280R Server Service Manual』を参照するか、購入先にお問い合わせください。内蔵ディスクドライブの追加については、『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』を参照してください。

---

## 作業前の注意事項

- システムを開梱して内容を確認します。梱包内容については第 1 章を参照してください。
- 付属品ボックスを開梱して、組み立て済みスライド部品、取り付け金具などのハードウェアを取り出し、見通しの良い場所に置きます。
- 梱包内容を調べ、3 ページの「付属品ボックスとスライド部品ボックスの内容」で示した部品がすべて含まれていることを確認します。
- このマニュアルの付録 A のラック格納装置の必要条件に関する解説を読みます。
- 次節の安全対策に関する解説を読みます。
- 迅速な作業のためには、2 組の工具を用意することをお奨めします。サーバーの設置作業には 2 人の作業者が必要です。

## 取り付けに必要な工具

- プラスのドライバ (Phillips の 2 番)
- マイナスのドライバ
- 六角レンチ式 (ラック格納装置の側面パネルの取り外しに使用)
- モンキーレンチ (サイズ調整の可能なもの。固定金具のナットを締める時に使用)
- 水準器 (格納装置の前後・左右を調整するために使用。必要に応じて準備)

---

## 設置作業の安全対策

Sun Fire 280R サーバーの設置作業時に必要となる安全対策についての詳細は『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』を参照してください。



---

**注意** – システムをラック格納装置に設置する際には、可能な限り低い位置に取り付けてください。ラック格納装置の安定性を最良に保つためには、このシステムより重量の少ない装置よりも上に、システムを設置しないでください (最大 34 kg/75 ポンド)。

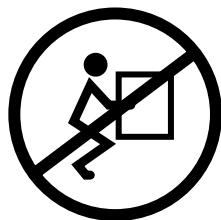
---



---

**注意** – システムの重量の関係上、システムの移動を伴う作業を安全に行うには人員が 2 名必要となります。また、ラックマウントの調整、ラックへのスライド部品の取り付けの際も、必ず 2 名で作業してください。

---



---

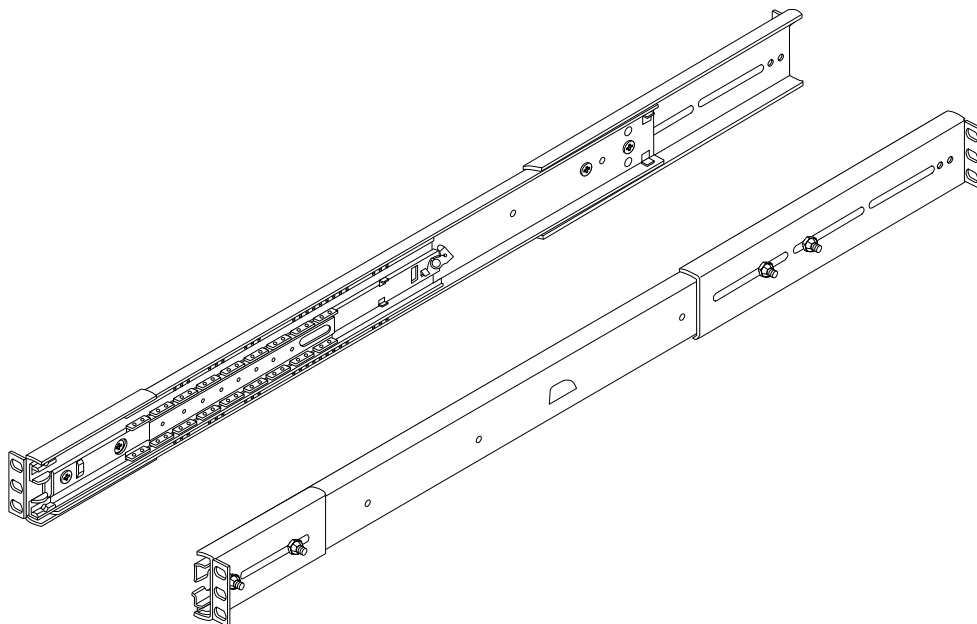
**注意** – システムの通気を適切な状態に保つため、ラック格納装置に設置されたシステム 1 台につき、気流の入口をシステム正面側に最低 181 平方 cm (28 平方インチ) 以上、排気口を背面側に最低 148 平方 cm (23 平方インチ) 以上、それぞれ確保しておく必要があります。また、システムと正面側および背面側のドアとの間は、それぞれ最低 3.8 cm (1.5 インチ) 空けておく必要があります。詳細は付録 A を参照してください。

---

---

## 組み立て済みスライドの配置

次の図は、組み立て済みスライド部品です。この2本のスライド部品の取り付け作業の詳細については、以降のページで説明します。



---

## ラック格納装置の準備

1. ラック格納装置の正面および背面のドアを開きます (可能であれば取り外します)。

詳細は各ラック装置に付属のマニュアルを参照してください。

2. 転倒防止脚を使用するか床にボルトで固定して、ラック格納装置を安定させます。

詳細は各ラック装置に付属のマニュアルを参照してください。

3. 可能であれば、ラック格納装置の側面パネルを取り外します。

詳細は各ラック装置に付属のマニュアルを参照してください。側面パネルの取り外しによりナットやねじを操作しやすくなり、システムのラック格納装置への取り付け作業の負担を軽減できます。

4. ラック格納装置の深さを計測してください。

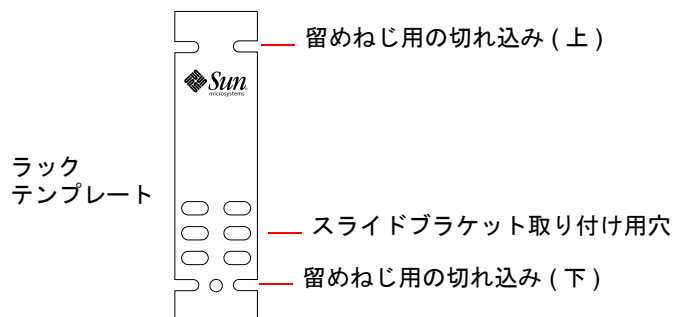
EIA 標準ラック格納装置の深さの範囲についての詳細は、付録 A 「必要条件」を参照してください。

5. フェルトペンとラックテンプレートを使用して、ラック格納装置の各取り付けレールに対し、スライド部品を取り付ける穴の位置を決め、印を付けます。

ラックテンプレートを使用すれば、各スライド部品が使用するラックレールの穴の位置がすぐに分かります。ラックテンプレートは、4 U (4 ラックユニット、17.78 cm/7.0 インチ)、または 12 穴分の大きさです。これは、標準的なラック格納装置の穴は 3 つごとに 5/8 インチ、5/8 インチ、4/8 インチの間隔で並んでおり、システムの設置の際に 4 本の取り付けレールのそれぞれの穴を使うべきかを正確に判断できるようにするためです。

- a. ラックテンプレートを合わせます。次の図を参照してください。

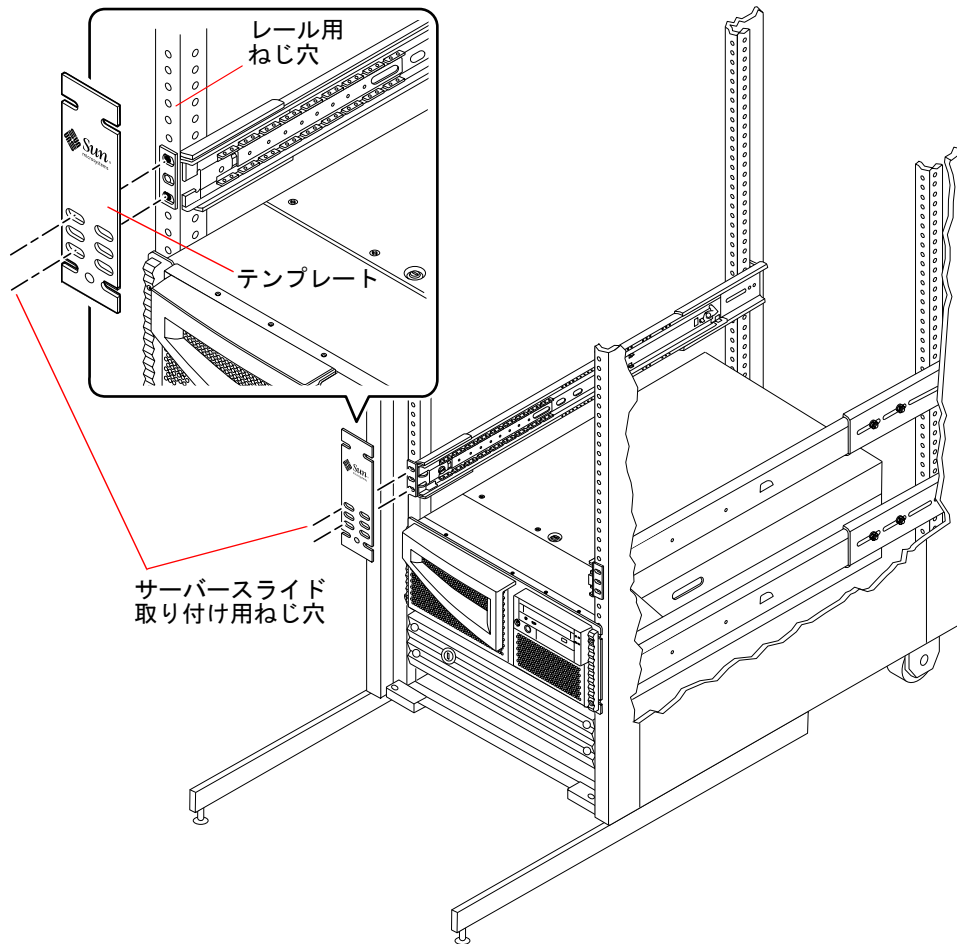
中段の3組の穴のうちの2つは、スライドブラケットの取り付けのためのものです(各スライドをラックに取り付けるのに使用するのは、これらの3つの穴の内の2つに使用する2本のねじだけです)。テンプレートの上段と下段の切れ込みは、システムをラックに固定するシステム留めねじの位置を示しています。



- b. ラックテンプレートを左前面の垂直ラックレールに合わせます。詳細は次の図を参照してください。
- c. ラックテンプレートの底を、取り付けレール上でシステムの底になる位置に移動します。
- d. ラックテンプレート下方の切れ込みの中央を、取り付けレール上のねじ穴の位置に合わせます。
- e. ラックテンプレート中段の3個の穴を通して取り付けレールの穴を覗き、このうち最も穴の面積が多く見えるもの2個を選び、この2個に印を付けます。

スライド部品をラックレールに取り付ける際には、ここで印を付けた2個の穴を使用します。スライド部品の取り付けに使用する穴は、この3個のうちの2個だけです。右正面の取り付けレールにも同様にラックテンプレートを使い、左右両側で同じ高さの穴に印を付けます。





# ラック格納装置へのスライド部品の設置

ラックレールのねじ穴のカウントと、ラックテンプレートを使用して各スライド部品がラックの前後、左右とも同じ高さに取り付けられているかの確認が、どちらも可能です。ラックテンプレートの使用についての詳細は、9 ページの「ラック格納装置の準備」を参照してください。

取り付けの前に、次の作業を完了してください。

- 9 ページの「ラック格納装置の準備」を完了してください。
- この作業が 1 台目のシステムのラックへの取り付けである場合は、9 番と 10 番 (または 11 番) のねじ穴を使用してください (これは電源ユニットの取り付けに、ラック下段の 1～6 番のねじ穴を使用している場合です)。
- スライド部品をできる限り低い位置に取り付けてください。
- 追加サーバーは、ラック格納装置の下段から取り付けてください。

1. 調整の必要があれば、背面側の取り付け金具をスライド部品上で前後に動かして、ラックの奥行きに合わせて長さを調整してください。

9 ページの「ラック格納装置の準備」の手順 4 で確認した深さに合わせてください。

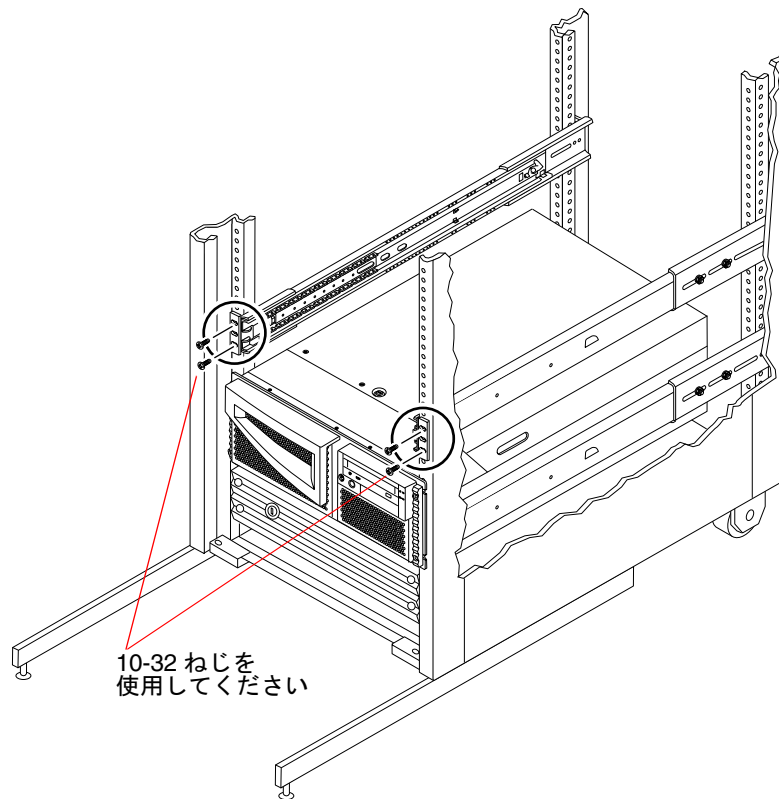
2. Phillips 10-32 平ねじを使用して、スライド部品をまず正面側のレールに取り付けます。

9 ページの「ラック格納装置の準備」の手順 5 で印を付けたねじ穴を使用します。サーバーを取り付けるまでは、ねじを完全に締め付けないでください。すべてのねじが取り付けられ、スライド部品がしっかりと水平に取り付けられているかどうか確認してください。

- a. スライド部品を右側のラックレールに取り付けます。左側も同様に取り付けます。次の図を参照してください。
- b. 補助用の人員を 1 名用いて、スライド部品をラック格納装置の内側に配置します。このとき、短い取り付け金具がラック前方になるように配置します。
- c. プラスの 10-32 平ねじを 2 本使用して、スライド部品の取り付け金具をラックの正面側レールに取り付けます。

- d. プラスの 10-32 平ねじを 2 本使用して、スライド部品を背面側のレールに取り付けます (ラックレール用ねじ穴の位置を見て、前面側のレールと同じ位置にあるかどうか確認してください)。

ねじを完全に締め付けないでください。ただし、各部品が取れない程度には締めてください。



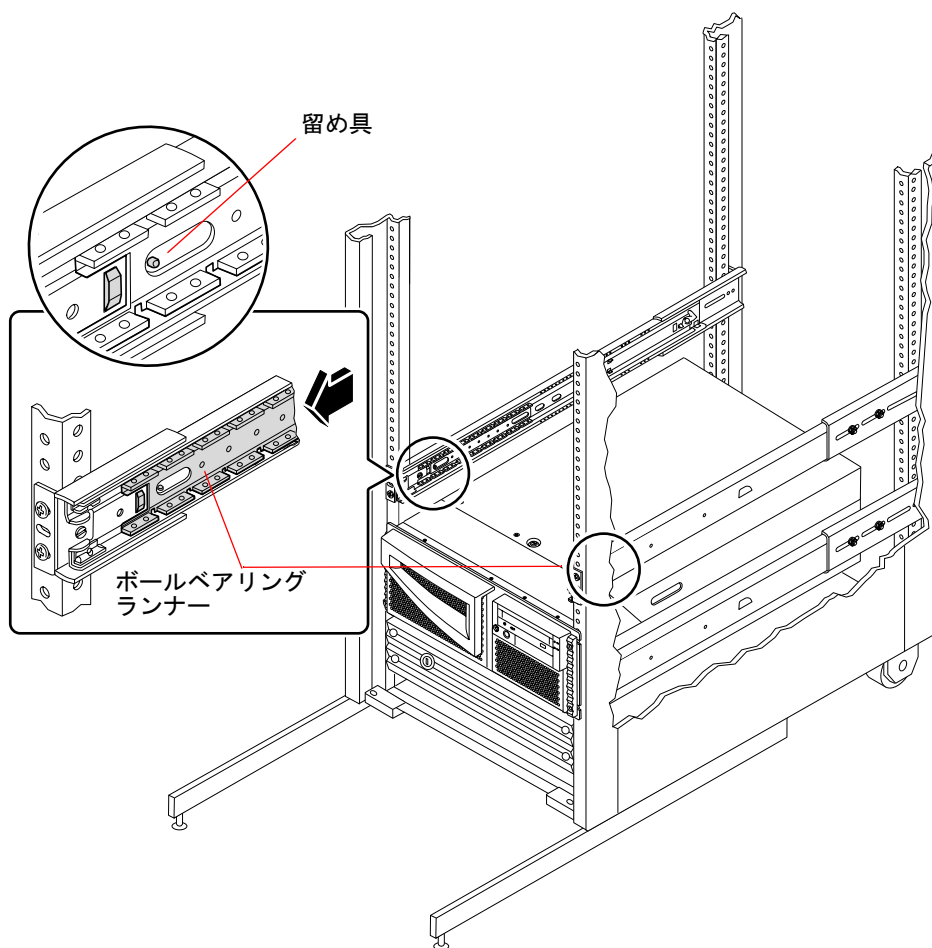
3. 後方の取り付け金具をスライド部品に固定する 4 本の 8-32 ナットを締めてください。  
後方の取り付け金具が両側にしっかりと固定されたかどうか確認してください。
4. 両スライド部品を、完全に収まるまでラック格納装置に押し込んでください。

## ラック格納装置へのサーバーの設置

1. 左右の内側レールの前側にある留め具に引っ掛かるまで、ボールベアリングランナーを前方に押し込んでください。



**注意** – スライド部品にサーバーを取り付ける前に、両ボールベアリングスライドがスライド部品の前面内側に確実に固定されているかどうか確認してください。内側のスライドがラック内で可能な限り後方にあることを確認してください。

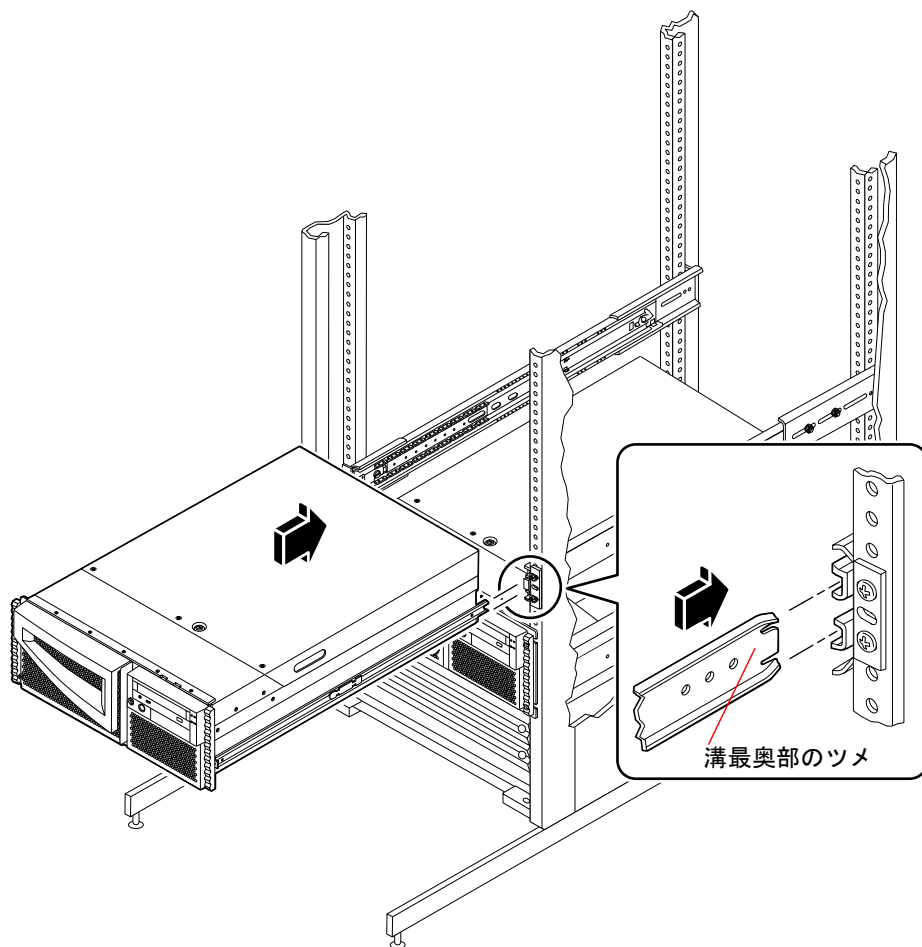




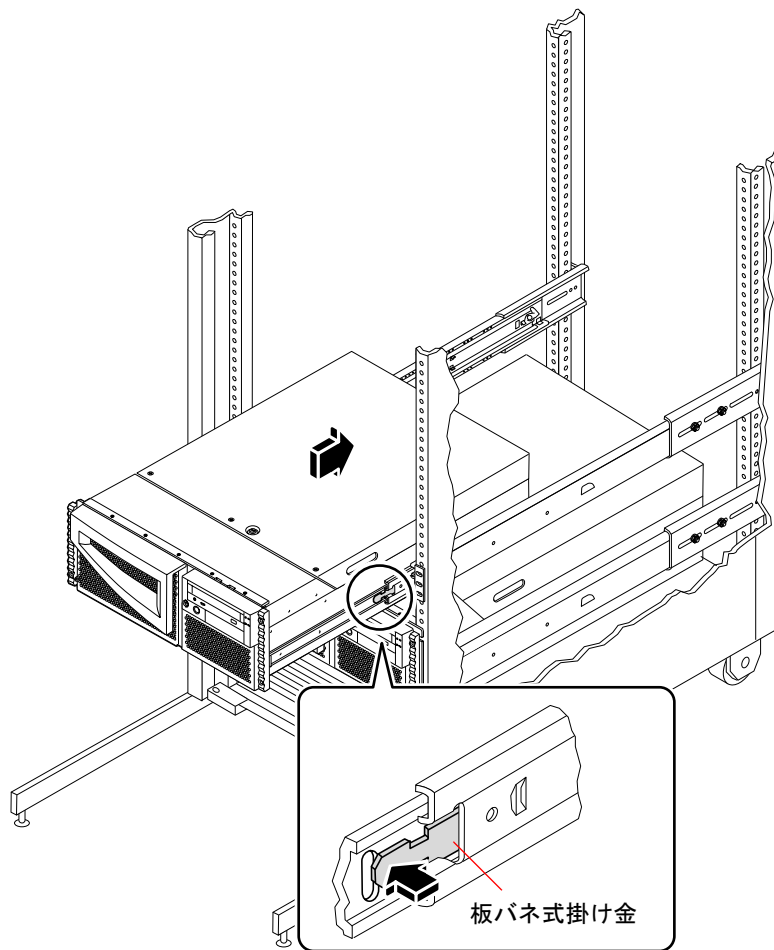
注意 - システムの重量の関係上、システムの移動は必ず2名で行ってください。

2. サーバーを持ち上げ (システムの側面に1名ずつ、計2名で作業します)、サーバーの背面側をラック格納装置正面側に向けます。
3. サーバー側面の溝の最奥部にあるツメを、ラック格納装置のスライド取り付け部品に合わせます。
4. サーバーを水平に保ったまま、溝の最奥部にあるツメが止まるまでラック格納装置に押し入れます。

サーバー側面の溝は、工場出荷時に取り付けられています。



5. 格納装置の両側で、サーバー側面の溝にある板バネ式の掛け金を押し込み、さらにサーバーを格納装置の奥まで押し込みます。



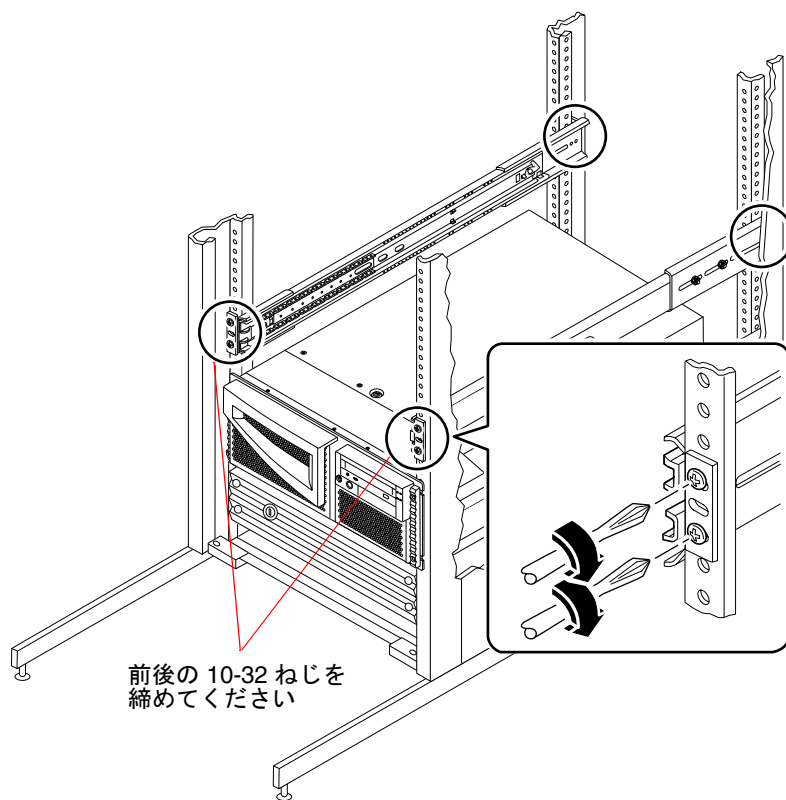
---

参照 – スライド部品と最奥部のツメが正しく合わさるように、サーバーをゆっくり注意深く前後に動かしながら押し込んでください。

---

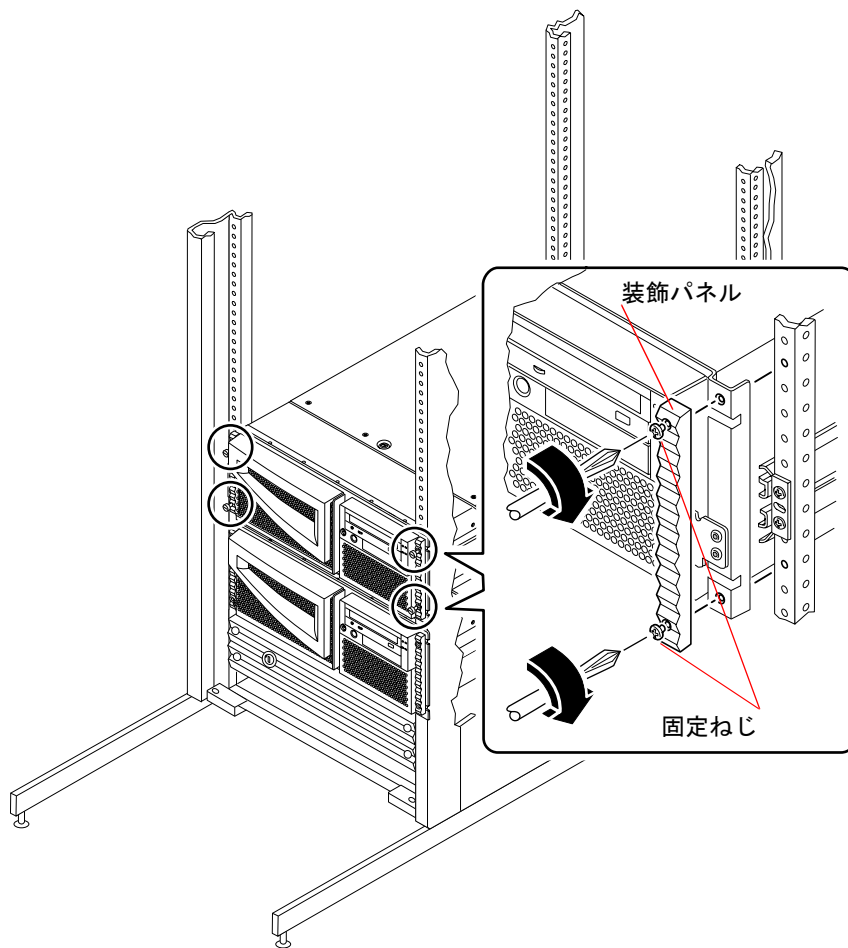
6. スライド部品のラックマウント用のねじ全部を最後までしっかりと締めてください。
- a. スライド部品が、前後・左右とも水平であることを確認してください。

- b. スライド部品を垂直ラックレールに固定している 8 本の 10-32 ねじをしっかりと締めてください。



7. サーバーをレールに固定します。

装飾パネルの固定ねじを使用して、サーバーの上下をレールに固定します。





## 第3章

---

# システムの設定

---

この章では、サーバーの起動および動作に必要な電源コードなどのすべてのケーブル類の接続方法を解説します。ソフトウェアに関する設定事項は、要点を概説しています。詳細については該当するソフトウェアのマニュアルを参照してください。

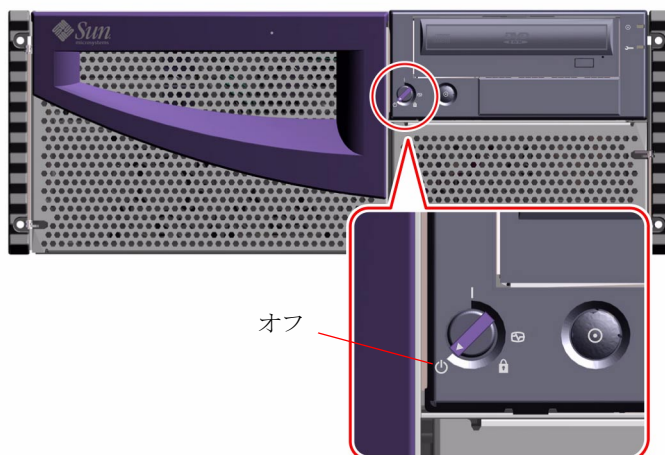
次の手順を守り、システムを設定してください。

- 20 ページの「電源コードの接続」
- 22 ページの「より対線 Ethernet ケーブルの接続」
- 23 ページの「システムコンソールの設置」
- 28 ページの「ラック格納装置の復元」
- 28 ページの「システムの電源投入」
- 31 ページの「オペレーティングシステムのインストール」
- 31 ページの「オンラインマニュアルのインストール」

電源の切断が必要な場合は、『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』を参照してください。

## 電源コードの接続

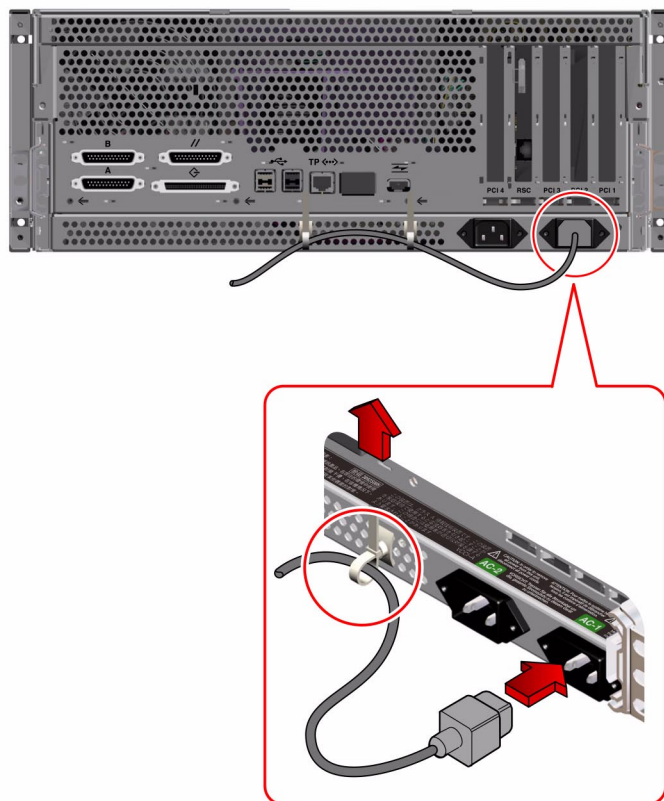
1. 正面パネルのキースイッチをオフの位置に入れます。  
システムキーをキースイッチに差し込んでください。



2. AC 電源コードを、システム背面の右側の 1 番の電源挿入口に接続します。  
2 本目の AC 電源コードは、2 番の電源挿入口に接続してください (必要な場合)。
3. ケーブル留め具 (strain relief) を電源コードに縛り付けます。

不慮の事故や不注意で電源を抜いてしまう事態を防ぐために、ケーブル留め具を使用してください。ケーブル留め具は、システム背面に差し込まれたプラスチック製のケーブル押さえ部品です。サーバーの電源挿入口に電源コードを差し込んでから、この留め具を使ってケーブルを整理してください。

ケーブル留め具の使用法: 電源コードを留め具に固定するには、留め具のツメでコードを巻き、ツメの先端を留め具の台の上部にある穴に通し、そのまま先端を引いて締め付けます。



4. AC 電源コードのもう一方の端を、ラック格納装置の電源シーケンサまたは設置場所の電源コンセントに接続します。

電源シーケンサについての詳細は、各ラック格納装置に付属のマニュアルを個別に参照してください。システムを接続する電源コンセントには、日本および北米では 15A 回路、ヨーロッパでは 10A 回路のものを使用する必要があります。

---

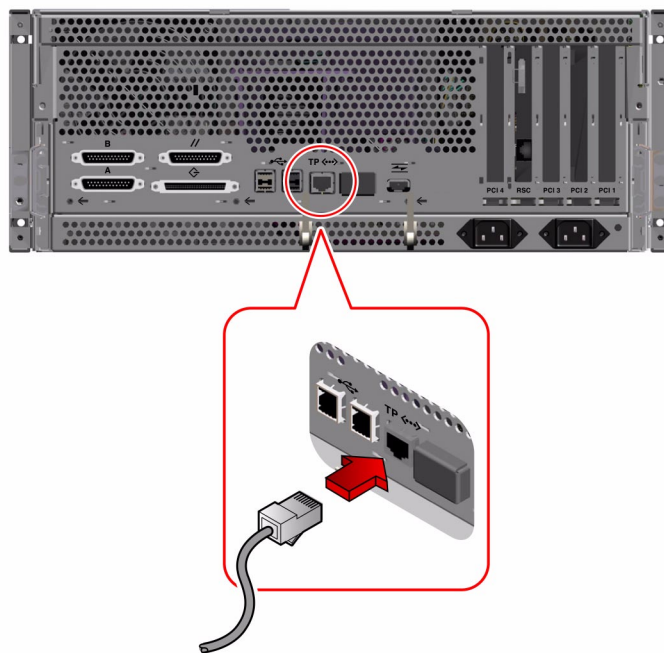
注 – 予備電源は、主電源と同じ AC 回路に接続することも可能ですが、システムの冗長性を高める場合は、それぞれ独立した回路を装備した 2 つの電源に接続してください。

---

## より対線 Ethernet ケーブルの接続

より対線 Ethernet ケーブル (TPE) を、システム背面の標準 Ethernet ポートに接続します。

1. TPE ケーブルをシステム背面パネルの RJ-45 コネクタに接続します。



2. ケーブルの反対側の端をシステム設置場所の TPE 供給口に接続します。

---

## システムコンソールの設置

サーバーソフトウェアのインストールやエラー診断の際には、システムコマンドを入力してシステム出力を調べる必要があります。

次のいずれかの方法でシステムを設定できます。

- 他の Sun システムから tip 接続を発行する。
- シリアルポート A に ASCII 端末を接続する。
- サーバーにグラフィックカード、モニター、キーボードを接続する。

---

注 - これらの機器はサーバーには付属していません。

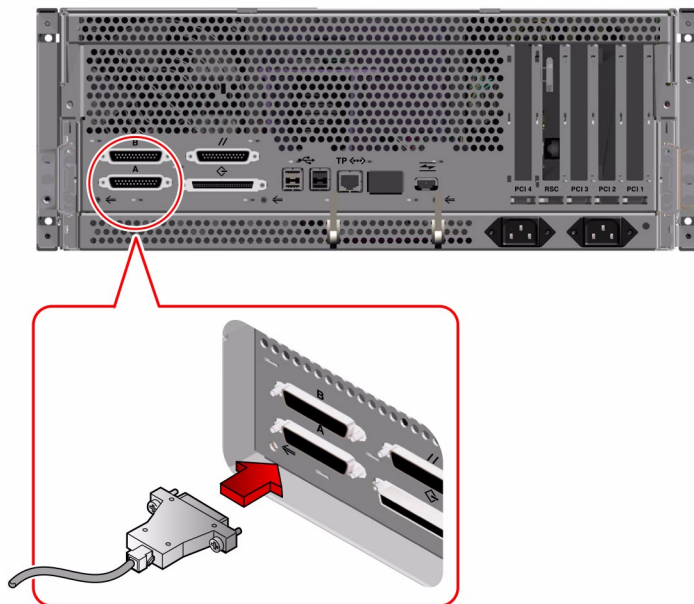
---

### tip 接続の設定方法

tip 接続の発行方法については『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』を参照してください。

## ASCII 端末の接続方法

1. 端末のデータケーブルを、サーバーの背面パネルのシリアルポート A に接続します。



2. 端末の電源コードを、アースされた AC 電源コンセントに接続します。
3. 端末の受信設定を以下のようにします。

- 通信速度 9600 ボー
- パリティなし、ストップビット 1 個の 8 ビット信号

詳細については、端末に付属のマニュアルを参照してください。

## グラフィックコンソールの設置

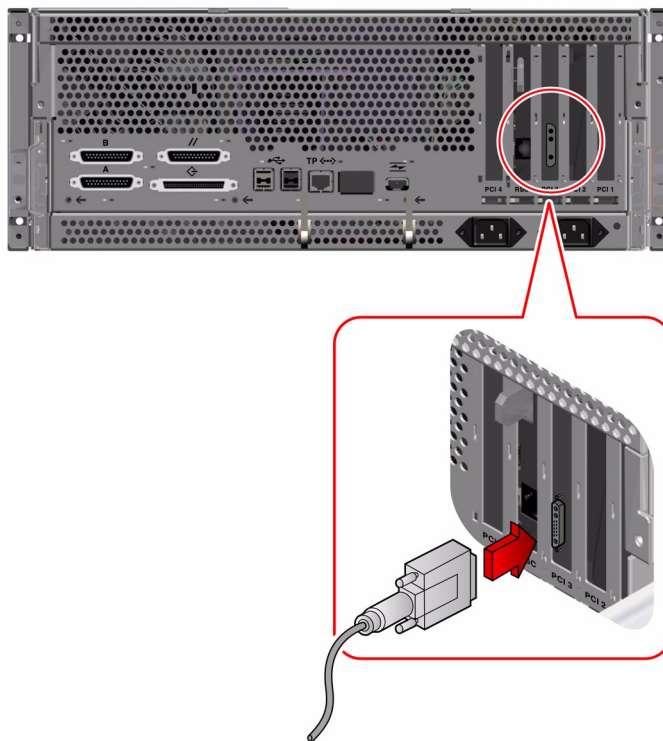
グラフィックコンソールをローカルに設置する場合は、PCI (Peripheral Component Interconnect) ベースのグラフィックカード、モニター、Sun Type 6 USB (Universal Serial Bus) キーボード、USB マウス、マウスパッドが必要です。これらの機器はシステムには付属していません。詳細については『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』を参照してください。

1. 未使用の PCI スロットにグラフィックカードを取り付けます。

『Sun Fire 280R Server Service Manual』を参照するか、購入先にお問い合わせください。

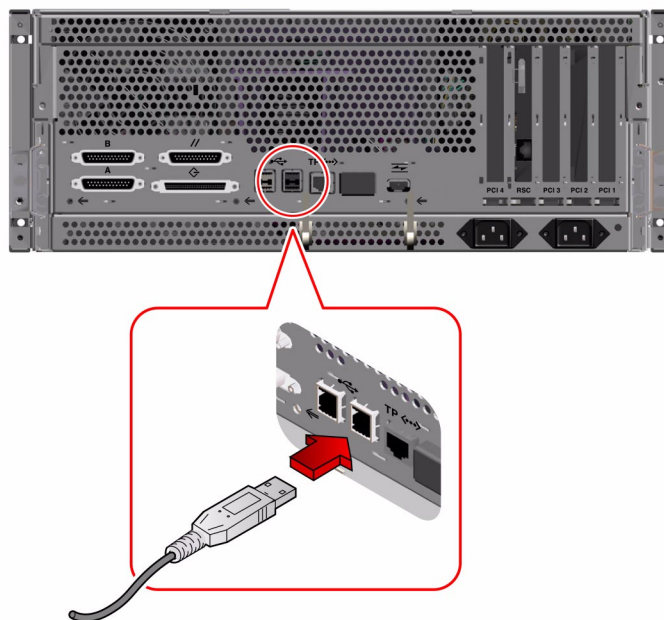
2. モニターのビデオケーブルを、グラフィックカードのビデオポートに接続します。

つまみねじを締めて固定します。



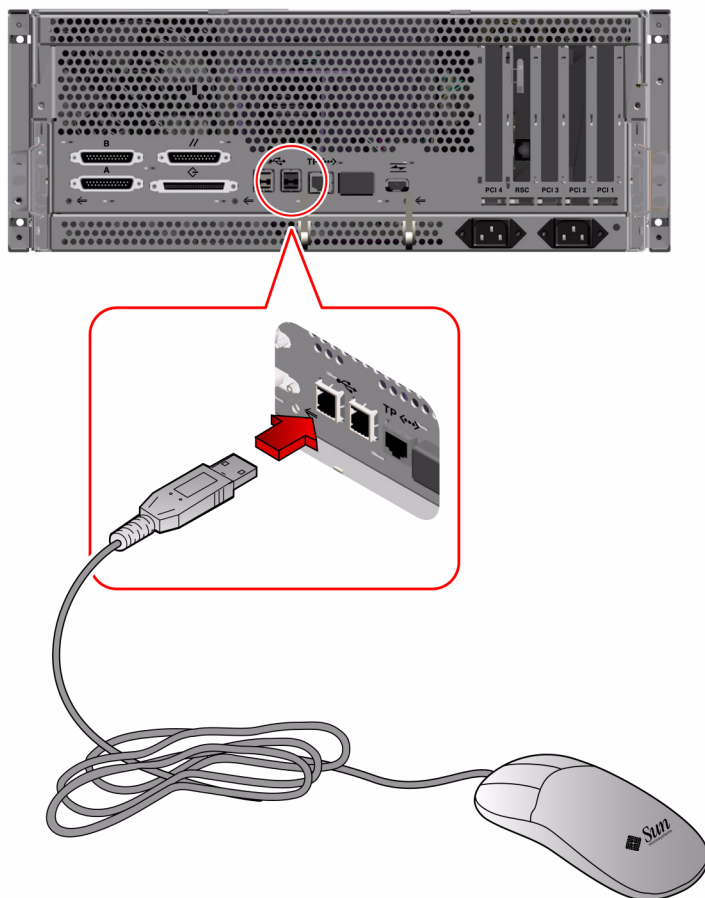
3. モニターの電源コードをアースされた AC 電源コンセントに接続します。

4. キーボードの USB ケーブルをシステム背面の USB ポートに接続します。





5. マウスの USB ケーブルをシステム背面の USB ポートに接続します。



---

## ラック格納装置の復元

復元作業についての詳細は、各ラック格納装置に付属のマニュアルを個別に参照してください。

1. ラックキャビネット内のケーブル類の配置を整えます。
2. 転倒防止脚を伸ばしていた場合は、戻します。
3. 側面パネルを外していた場合は、取り付けます。
4. 必要であれば、正面側および背面側のドアを取り付けます。

---

## システムの電源投入

この作業には、システムキーが必要です。



---

**注意** – 電源の投入されているシステムは決して移動しないでください。移動によりディスクドライブに致命的な損傷が生じることがあります。システムの移動が必要な場合には、必ず電源を切断してから作業してください。

---



---

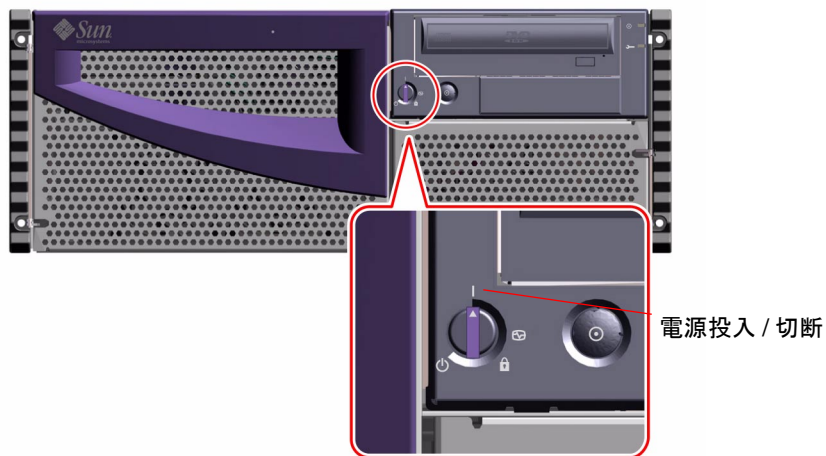
**注意** – システムに電源を投入する前に、システムカバーが正しく取り付けられていることを確認してください。

---

1. すべての周辺機器および外付け記憶装置に電源を投入します。
2. 必要な場合は、モニターや端末に電源を投入します。

3. 正面パネルのキースイッチを電源投入 / 切断の位置に入れます。

必要であれば、システムキーをキースイッチに差し込んでください。



4. 正面パネルの電源ボタンを 1 回押します。

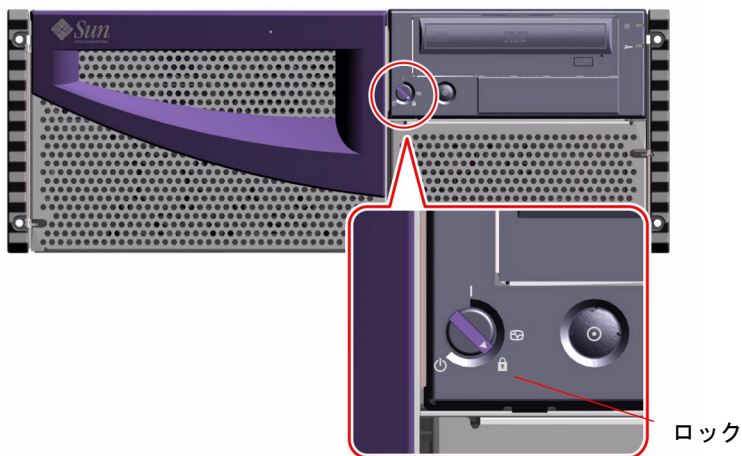
---

注 – システムモニターに画像が表示される、あるいは接続した端末に OK プロンプトが表示されるまでには、30 秒から 2 分ほど時間がかかります。この時間の長さは、電源投入時の自己診断 (POST、power-on self-test) のレベルに依存します。

---

5. キースイッチを回してロックの位置に入れます。

このロックの位置に入れておくと、誤った電源切断の発生を予防できます。



---

注 - システムの電源を切断する必要がある場合は『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』の解説に従って作業してください。

---

6. キーをキースイッチから抜き取り、セキュリティーの確保された場所で保管しておいてください。

---

## オペレーティングシステムのインストール

Solaris 8 以降のオペレーティング環境をインストールする場合は、Solaris のソフトウェアに付属のマニュアルおよび『Sun Fire 280R サーバー オーナーマニュアル』に記述されているインストールに関する説明を参照してください。

---

## オンラインマニュアルのインストール

マニュアルキットには、システムの使用・修理・保守などの解説を記載したオンラインマニュアルを収録した CD-ROM が含まれています。インストールの方法についてはこの CD-ROM に付属のマニュアルを参照してください。



# ラック格納装置の必要条件

このサーバーは Sun の 72 インチ (184 cm) 拡張キャビネット、または次の表に記述した必要条件を満たす、EIA 工業規格準拠のラック格納装置に設置可能な設計になっています。サーバーのラックマウントには 1 台につきそれぞれ、Sun のラックマウントキットが必要です。

| 項目       | 必要条件  |
|----------|---|
| 耐荷重容量    | Sun Fire 280R サーバー本体の重量 (34 kg、75 ポンド) に加え、ラックマウント用ハードウェアおよびその他すべての付属装置を含む重量に確実に耐えられること。  |
| 縦方向のスペース | サーバー 1 台につき縦方向に 4 U (17.78 cm、7 インチ) 分のスペースが必要です。72 インチ (183 cm) キャビネット 1 台には、最大 9 台のサーバーを設置できます。   |
| 通気       | 40° C、3,048 m (10,000 フィート) の環境で、システム 1 台あたり 113 cfm (立方フィート / 分) の通風量が必要です。この通風量は 40° C、海拔 0 m の環境に換算した場合の 73 cfm、あるいは 328 lb/hr (ポンド / 時) と等価です。<br><br>適正な通気状態を保つため、ラック格納装置に設置したシステム 1 台につき最低、気流の入口を正面側に 181 平方 cm (28 平方インチ)、排出口を背面側に 148 平方 cm (23 平方インチ)、それぞれ確保する必要があります。正面・背面のドアとシステムの間は、3.8 cm (1.5 インチ) 以上離す必要があります。 |

| 項目                | 必要条件  |
|-------------------|---|
| 垂直方向の取り付けレール      | <p data-bbox="608 248 1248 343">取り付け穴の間隔が EIA (RETMA) の規格に準拠した取り付けレールを、2 組 (正面と背面に 1 組づつ) 装備していること。</p> <p data-bbox="608 387 1248 482">左右のレールの間隔 (一方の取り付け穴の中心から反対側の取り付け穴の中心までの距離) は、正面側・背面側共に 46.5 cm (18.3 インチ) とします。</p> <p data-bbox="608 526 1248 621">正面と背面のレールの間隔 (一方のレールの外側の面から反対側のレールの外側の面までの距離) は、68.26 cm (26.875 インチ) から 88.5 cm (34.875 インチ) の間とします。</p> |
| ドアとパネル            | <p data-bbox="608 748 1248 873">Sun の拡張キャビネットは、正面側のドアと側面パネルを取り外せる設計になっており、システムの取り付けや保守の作業負荷を軽減できます。その他の格納装置については、各製品に付属のマニュアルを参照してください。</p>   |
| 電磁干渉 (EMI) の遮蔽    | <p data-bbox="608 899 1248 1024">ユニットをラックマウントした状態でも、システムシャーシと金属製の側面パネルが電磁干渉 (EMI、Electromagnetic interference) に対する遮蔽性を十分に満たすものを使用してください。</p>   |
| 転倒防止対策            | <p data-bbox="608 1050 1248 1209">ラックはボルトで床に固定できるものか、または転倒防止脚を装備したものを使用して、十分な安定性を確保する必要があります。ラックからシステムなどの機器を前方に引き出した時に、キャビネットが前傾・転倒しないように予防してください。</p>  |
| 保守・設置作業用スペースの最低基準 | <p data-bbox="608 1236 1248 1331">ラックの正面側には設置および保守作業のため、最低でも奥行き 1 m (3 フィート)、幅 2 m (6 フィート) のスペースを確保しておく必要があります。</p> <p data-bbox="608 1374 1248 1463">取り付けレールのスライド部品を最大まで引き出すと、ラック正面側の垂直取り付けレールより、75.6 cm (29.75 インチ) 前まで出ます。</p>  |
| 耐火性               | <p data-bbox="608 1489 1248 1548">Underwriters Laboratories, Inc. および 北米 TUV Rheinland の耐火基準を満たしたものを使用してください。</p>   |